

こころ日記「ぼちぼち」その②

1 1

脇野 千恵

「適応」ってなに？

学校現場から離れて、3年になります。今は、ある市の教育委員会所属の「適応指導教室」で、支援員として働いています。

私などはつい言葉にこだわってしまうのですが、「適応指導ってなんだろう？」と考えてしまいます。不登校の子どもに対して「学校に適応するように児童生徒を指導する」ということになるのですが、そもそも「適応」とは、「その場の状態・条件などによくあてはまること」とあります。つまり学校という場所、環境にあてはまらないというのが、不登校なんですね。

私自身のことを語ると、小さい頃、私の家族は、姉達は学校へ、父は仕事に、母は兄の看病で忙しく、保育園に預けられました。集団活動が苦手な、一番嫌だったのは、皆で一斉のお昼でした。なぜ眠たくないのに寝なければならないのか？本当に苦痛でした。また遊戯の練習など上手くできないと叱られたり…。家が近かったので、何回か黙って保育園を抜け出したのを覚えています。

学校に入学してからも、厳しい規律の中で、なぜ皆と同じでなければならないのかと疑問に思っていました。幼い頃から左利

きだった私は、学校での生活が右利き中心なので、運動会の行進や、習字などでよく注意をされました。入場行進で、右足から出すところを左足を出すのですから、見栄えがよくない。当時の教師はきっとイライラしたことでしょう。

可哀そうに思った父親は、右利きにさせようと厳しくしつけました。今は左利きなど問題にしません、昔の人は「女の子の左利きはよくない」と言ったそうです。

（お陰で両利きになったのは、大人になってとても便利でしたが）

とにかく集団活動が苦手、「適応」という部分では、不登校にはならなかったものの、私は大いにはずれていたと思います。今なら間違いなく「発達障がい」と言われたことでしょう。

今、「適応」できないことで学校にいけない？そもそも学校とは何？と、考えています。

子どもの居場所

長い教員生活で、担任泣かせは不登校でした。私自身は少々やんちゃで乱暴な生徒のほうが扱いやすかった。今は本当に、昔

「ヤンキー」などと呼ばれた部類の生徒はほとんどいません。

20年ほど前の「ヤンキー」は、教室ではろくに勉強なんてしないけれど、じっとおとなしく座っていました。いやになるとそっと外に出て、教室外で問題を起こすことが多かったように思います。彼ら、彼女らには、同じクラスや学年の仲間、つまり一般生徒？には迷惑をかけないというきまりのようなものがありました。

体育祭、合唱コンクール、修学旅行など、学級での話し合いには参加し、本番では自分の役割を果たし、共に盛り上がり楽しむ姿が見られたものです。だからクラスにちゃんと居場所を作っていたと思います。

「普段はちょい悪やけど、あいつらもええところあるやん！」と言う生徒もいて、周りが共感できる一面もあったように思います。集団生活でのこういった体験や経験の思い出は、生徒たちが成長したあと大人になって、共通の話題として語り合えるのではないかと思います。



一方学級の荒れ方は、ここ最近随分と変化してきました。「ヤンキー」タイプはいませんが、ちょっと反社会的な生徒が学級からは出て行かず、むしろ教室の中で授業妨害をし、その行動はとても幼稚で、一般生徒を巻き込んでいくパターンが目立ちます。小学生のようないたずらをして、注目してほしいという行動です。この状況は、今課

題のある高校の実態と同じだと聞いています。問題行動の低年齢化というのでしょうか。

時々高校の先生から、

「中学校の生徒指導はどうなっているのか？」と問われ、「うーん、一体何がいけないんでしょう。私たちも困っているんです」と答えるしかありません。

今、学校での主な問題は、不登校。そしていじめです。

おとなしい子がからかいの対象になったりすることがあり、そのことを理由に学級に入れられない、学校に登校できない事例が多くあります。

適応教室に来る子どもの多くの主訴は、いじめをきっかけに不登校になったというものです。(不登校の理由などは、本当のところわからないと思っていますが…)

また、学校現場は世代交代とともに、教員の約半数ほどが20代を占めています。

ブラック化と言われていますが、報告などの事務処理、細かい雑務が多く、本来の子どもを育てることにエネルギーを注ぐ時間が、少なくなっています。マニュアル化も進み、適応しない子どもへの対応が苦手という若い教員も増えています。担任との関係から、保護者の学校への不信感、不満につながっているのも気になります。理由を挙げればきりがありませんね。

が、なぜ、こんなに不登校が増え続けるのか？

学校現場から離れみて、見えてくるものがたくさんありますが、批判するよりも何か手だてはないものかと、考える日々です。

つづく